

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 5 Part 1 6-7	●とびらのチラシや Sho と Kiri の会話から, Unit のトピックについて考える。 ①チラシを見ながら Sho と Kiri の会話を聞き, 問いに答える。 ②この課で何ができるようになるのか, 目標を確認する。 ●現在完了形(完了)の特徴やきまりを理解する。 ①Target 1 の現在完了形(完了)の肯定文, 否定文の意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③美術館の前での 3 人の会話文の概要を捉え, 音読する。	・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。 ・ トピックに関する理解を高めるため, Notes の 3-D アート美術館の説明を参照させる。
2	Part 1 6-7	●現在完了形(完了)の肯定文や否定文を用いて, 話したり伝え合ったりする。 ①本文の上の Listen と下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。 ②Listen の活動をし, 絵の内容を表す英語を言ってみる。 ③Speak, Write 準備を終えたことや終えていないことを伝え合い, 正確に書く。 ④Express Yourself ペアで行い, 終えたことやしていないことを伝える会話をする。	・ just, already, yet などの副詞を説明する。 ・ Tool Box の表現を説明する。
3	Part 2 8-9	●現在完了形(完了)の特徴やきまりを理解する。 ①Target 2 の現在完了形(完了)の疑問文の意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③場面を理解した上で, 4 人の会話文の概要を捉え, 音読する。 ④3 枚の絵について説明する。	・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。 ・ 付加疑問文 Isn't ~? について説明する。
4	Part 2 8-9	●現在完了形(完了)の疑問文を用いて尋ねたり, それに答えたりする。 ①本文の上の Listen と下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。 ②Listen の活動をし, 会話を聞いて絵の正誤を判断する。 ③Speak, Write したこととしていないことを伝え合い, 正確に書く。 ④Express Yourself To Do List の項目を済ませたかどうかを尋ね合う。	・ Tool Box の表現を説明する。
5	Part 3 10-11	●現在完了形(経験)の特徴やきまりを理解する。 ①Target 3 の現在完了形(経験)の肯定文・疑問文・否定文の意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③場面を理解した上で, 2 人の会話文の概要を捉え, 音読する。 ④optical illusion とは何なのか話し合う。	・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。 ・ ever, never などの副詞について説明する。
6	Part 3 10-11	●現在完了形(経験)の文を用いて尋ね合ったり, それを書いたりする。 ①本文の上の Listen と下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。 ②Listen の活動をし, 2 人の話からしたことのあることを選ぶ。 ③Speak, Write の活動をし, したことがあるかを尋ね合い, 正確に書く。 ④Express Yourself 互いにどんなことをしたことがあるかを尋ね合い, それを書く。	・ トピックに関する理解を高めるために, Notes の optical illusion の説明を参照させる。
7	R&T 12-14	●だまし絵の歴史についての文章を読んで, 概要を捉える。 ①6つの段落の文章を読んでどの絵のことについて書かれているかを予想する。 ②新出語句を確認する。 ③Step 1 改めて全体を読み, それぞれの段落の要点を捉えて①の修正をする。 ④Step 2 時を表す表現に注目してもう一度読み, 表を完成する。	・ Notes にある Trick Art 創設者の話を small talk で行う。 ・ 新出語が多いので, 飽きない工夫をする。
8	R&T 12-14	●本文の英語を参考にしながら, 示されただまし絵の説明をする。 ①p. 12 の 6 つの絵の内容を表現するように音読する。 ②Step 3 2 枚のだまし絵のしくみについて簡単な語句や文を用いて発表する。	友人の発表に耳を傾けさせる。
9	T&S 15	●自分の好きな美術作品について紹介をする。 ①Step 1 Emi の発表を聞き, その要点を英語でメモする。 ②Step 2 自分の発表用のメモを英語で書く。 ③Step 3 Emi の発表や②のメモを活用しながら, わかりやすい表現で発表する。 ④この課の Input や Output の目標に関して自己評価する。	・ Check の評価項目を踏まえた Show & Tell ができるように工夫させる。
後日		パフォーマンステスト ・理由などを伝えながら自分の好きなもの等について発表する問題。 ペーパーテスト ・現在完了形(完了, 経験)の特徴やきまりについての知識を問う問題。	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 17 Part 1 18-19	<p>●とびらの3枚の写真について知っていることを発表し合い、Listenの音声を聞くことでUnitのタイトルの意味を考える。</p> <p>①とびら以外の原爆に係る写真や映像などを見ながら、Listenを聞き、問いに答える。</p> <p>②この課で何ができるようになるのか、学習の目標を確認する。</p> <p>●現在完了形(継続)の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 4の現在完了形(継続)の肯定文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③silent structure についての理解を深め、黙読し、本文の概要を捉える。</p>	<p>・広島の写真や映像等の資料を利用しながら、Enjoy Chattingの問いをsmall talkで行う。</p>
2	Part 1 18-19	<p>●現在完了形(継続)の文を用いて、どのくらい続いているか伝え合う。</p> <p>①Listenの活動に取り組み、3名の自己紹介を聞いてそれぞれの情報を捉える。</p> <p>②Speak, Write あることがどのくらい続いているか伝え合い、正確に書く。</p> <p>③Express Yourselfで、自分がはまっていることや興味があることを書く。</p>	<p>・for や since について説明する。</p> <p>・Tool Boxの表現を説明する。</p>
3	Part 2 20-21	<p>●How longで始まる現在完了形(継続)の文の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 5のHow longで始まる現在完了形(継続)の疑問文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③ガイドとKiriの会話から、被爆樹木アオギリにまつわる話の概要を捉える。</p>	<p>・Enjoy Chattingの問いをsmall talkで行う。</p> <p>・Notesのアオギリの説明を参照させる。</p>
4	Part 2 20-21	<p>●How longで始まる現在完了形(継続)の疑問文を用いて尋ね合う。</p> <p>①ListenのKiriとガイドとのやり取りを聞いて、要点を捉え、メモを完成する。</p> <p>②Speak, Write 続いていることとその期間を尋ね合い、正確に書く。</p> <p>③Express Yourself 友達や知り合いについて、知り合ってどのくらいかを尋ね合う。</p>	
5	Part 3 22-23	<p>●現在完了進行形の文の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 6の現在完了進行形の文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③ガイドとKiriの会話から、paper cranesにまつわる話の概要を捉える。</p>	<p>・Enjoy Chattingの問いをsmall talkで行う。</p> <p>・動作と習慣の表現の差を説明する。</p>
6	Part 3 22-23	<p>●現在完了進行形の文を用いてどんなことがどのくらい続いているか伝え合う。</p> <p>①本文の上のListenや下のReadの問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②ListenのKiriと父の会話を聞いて、①～③の質問に答える。</p> <p>③Speak, Write どのようなことをどれくらい継続しているかを伝え合い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourselfで、自分や友達が今までずっと続けていることについて書く。</p>	<p>・様々な所から送られてくる折り鶴の写真等を示す。</p> <p>・Tool Boxの表現を説明する。</p>
7	R&T 24-26	<p>●被爆体験の語り部とその伝承者に関する紹介文を読み、その概要を捉える。</p> <p>①原爆投下による被害の様子に関する資料やNotesの被爆体験伝承者について読み、本文で書かれていることをイメージする。</p> <p>②はじめに黙読した後、新出語句を確認する。</p> <p>③Step 1 5つのポイントを確認しながら、もう一度全体を読む。</p>	<p>・岡田さんと山岡さんの立場の違いを考えさせる。</p>
8	R&T 24-26	<p>●被爆体験の語り部とその伝承者に関する紹介文の要約文を完成する。</p> <p>①Step 1で確認したことを思い出しながらペアやグループで紹介文を音読する。</p> <p>②Step 2 紹介文の内容についての英問英答に取り組む。</p> <p>③Step 3 空所に適切な語句を入れ、要約文を完成し、内容を表現するように音読する。</p>	<p>・題材のテーマである語り部の存在意義について考えさせる。</p>
9	T&W 27	<p>●自分の学校の修学旅行についてまとまりのある文章を書き、紹介する。</p> <p>①Step 1 Keiの作成したメッセージを聞き、その要点を英語でメモする。</p> <p>②Step 2 Tool Boxを活用しながら自分の発表用のメモを英語で書く。</p> <p>③Step 3 Keiの発表や②のメモを活用して構成を考え、まとまりのある文章を書く。</p> <p>④この課のInputやOutputの目標に関して自己評価する。</p>	<p>・ペアやグループでそれぞれの作品を読み合わせたい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・身近な話題について、まとまりのある文を書く問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・現在完了形(継続)の文や現在完了進行形の文の特徴やきまりについての知識を問う問題。</p>	

Book 3 Focus on Form ① 現在完了形／現在完了進行形 pp. 28-29 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	28-29	<p>●互いに大切に使っているものについて、使っている期間や、手に入れたきっかけ、自分にとってどのような存在かなどを尋ね合う。</p> <p>①現在完了形／現在完了進行形の文構造の特徴やきまりを理解する。</p> <p>②現在完了形／現在完了進行形の肯定文、否定文、疑問文、応答文の例をその特徴に注意しながら音読する。</p> <p>③Compare の文の意味の違いについて、ペアで話し合う。</p> <p>④Your Turn で、最近したことがあることや大切に使っているものについてペアで尋ね合う。</p>	<p>・ just, already, yet, before, never, ever, twice, for, since などの語についても確認する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・ 現在完了形の文構造の特徴やきまり、表現する内容を確認する知識の問題。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 31 Part 1 32-33	●とびらの写真の内容を想像したり Kiri と Hina の会話を聞いたりして、Unit のトピックとなっている Living Side by Side について考える。 ①写真を見ながら Kiri と Hina の会話を聞き、問いに答える。 ②この課で何ができるようになるのか、学習の目標を確認する。 ●S+V+O+O(that 節)の特徴やきまりを理解する。 ①Target 7 の S+V+O+O(that 節)の文の構造、意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③Hall 先生の授業での 3 人の会話文の概要を捉えるように音読する。	・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。
2	Part 1 32-33	●S+V+O+O(that 節)の文を用いて説明し合ったり書いたりする。 ①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。 ②Listen の活動をし、誰のどんなアドバイスカを聞き取る。 ③Speak, Write 標識が示す意味を説明し、正確に書く。 ④Express Yourself 身近な人に言われたことで印象に残っていることについて書く。	・他にも標識の写真があれば説明させてもよい。 ・Tool Box の表現を説明する。
3	Part 2 34-35	●S+V+O(疑問詞節)の特徴や決まりを理解する。 ①Target 8 の S+V+O(疑問詞節)の文の構造、意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③Hina の野生動物保護についての発表の前半の概要を捉え、音読する。	・ what, where 以外の疑問詞も示し、練習をする。
4	Part 2 34-35	●S+V+O(疑問詞節)の文を用いて話したり尋ね合ったりする。 ①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。 ②Listen の活動をし、Sho と Dan の会話から情報を聞き取り、正誤を判断する。 ③Speak, Write 英語の先生について知っていることを発表し、正確に書く。 ④Express Yourself 担任の先生についてどんな情報を知っているか尋ね合う。	・日本語と英語の ultra-の発音の違いに気づかせる。
5	Part 3 36-37	●S+V+O+O(疑問詞節)を用いた文の特徴や決まりを理解する。 ①Target 9 の S+V+O+O(疑問詞節)の文の構造、意味や働きを理解する。 ②新出語句を確認する。 ③Hina の野生動物保護についての発表の後半の概要を捉え、音読する。	・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。
6	Part 3 36-37	●S+V+O+O(疑問詞節)の文を用いて尋ね合ったり書いたりする。 ①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。 ②Listen の活動をし、3 人が先週末にしたことを聞き取り、絵と結びつける。 ③Speak, Write 写真の場面に合った質問をし、正確に書く。 ④Express Yourself 相手に尋ねてみたいことを尋ね合う。	・標識、通り道、超音波、魚道はすべて何のためかを考えさせる。
7	L&T 38-39	●Haruka のフロリダの水族館に関するプレゼンテーションを聞き、その概要を捉える。 ①Scene から要点を推測し、プレゼンテーションを聞いて確認する。 ②新出語句を確認し、再度聞いて各スライドにタイトルをつけて要点を捉える。 ③概要を捉えるために、内容を表にまとめたり、マッピングを作成したりする。 ④Step 1 プレゼンの要点 3 つを選択肢から選び、その順番を()に書く。	・写真とキャプションの英語にまず着目させてから、Haruka のプレゼンテーションを聞く。
8	L&T 38-39	●フロリダの水族館がどんな施設かわかるようにスライドを参考に説明する。 ①Step 2 プレゼンを再度聞いて、内容に関する英語の質問に答える。 ②Step 3 スライドや Step 1・2 での活動を参考に説明する内容をメモにまとめる。 ③②でまとめたメモをもとに、スライドを指しながら施設やその役割を説明する。	・デジ教や指導書のピクチャーカードから必要な写真を選びそれを使って説明する。
9	T&S 40	●Yui の発表を聞いてその要点を理解するとともに、自分の体験を表現する。 ①Step 1 Yui の発表を聞き、その要点を表にまとめる。 ②Step 2 自分で発表したいことを考え、伝えたい内容の構成を考える。 ③Step 3 Step 2 で書いたことをもとに発表する。 ④この課の Input や Output の目標に関して自己評価する。	・動物や植物で経験がなければ、昆虫なども含めてもよい。
後日		パフォーマンステスト ・身近な話題に関して、その特徴や自分との関係などを含めて発表する問題。 ペーパーテスト ・S+V+O+O(that 節), S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)を用いた文の特徴やきまりについての知識を問う問題。	

Book 3 Let's Talk ① 買い物のトラブル p. 41 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	41	<p>●買い物のトラブルで、苦情を伝えたり(客)苦情に対応して謝ったり(店員)する。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step:1 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step:2 ペアになり、モデル会話を参考にして①と②の設定で会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、Tool Box の表現を参考にして、トラブルの内容やそれについての求める対応や謝る表現を自由に決めて、スキットを作って演じる。</p>	<p>・必要な場合は「苦情」と「誹謗中傷」の違いを説明する。</p> <p>・Tool Box の表現を確認する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・①日本人教師が客で生徒が店員、②生徒が客で ALT が店員の2つの場面を設定して、学習した表現を踏まえ、苦情を伝えたり、苦情への対応ができているかどうかを見る問題。</p>	

Book 3 Let's Listen ① Rank Items in Order of Importance p. 42 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	42	<p>●ラジオ番組から必要な情報を聞き取り、それを友達に伝えて共有する。</p> <p>①Before Listening で3枚の絵からラジオ番組の内容を推測する。</p> <p>②Step 1 の① (1)~(3)の内容を確認してからラジオ番組を聞いて、内容に合っているものにチェックをする。</p> <p>③新出語句の3行目の camping tent までを確認する。</p> <p>④Step 1 ②: もう一度、ラジオ番組を聞いて、②の重要度のランク付けを Step 2 の表に書き込む。</p> <p>⑤Step 2 ①: 番組の続きを聞いて、Emma と専門家のランク付けを表に書く。</p> <p>⑥Words の3行目の got 以降の新出語句を確認する。</p> <p>⑦Step 2 ②: もう一度、ラジオ番組の続きを聞いて、専門家のそれぞれのアイテムがその順位になった理由を書き込む。生徒の実態にもよるが、できれば英語で書かせたい。</p> <p>⑧p.109 のスクリプトを見ながらもう一度ラジオ番組全体を聞いて内容を確認する。</p> <p>⑨Step 3: ペアの相手がラジオ番組を聞いていなかったと想定して、状況の説明とアイテムのランキングを伝える。それぞれのアイテムがその順位になった理由についても Step 2 ②に書いた理由を見ながら伝えられるようにしたい。</p>	<p>・様々な考え方があることを大切に捉えさせたい。</p> <p>・④⑦生徒の実態に応じて音声の流す回数や速度を調整する。</p> <p>・⑨聞いたことをパラフレーズしながら話して伝える活動は高度であるが、授業でどれくらい練習しているかによって違いが出る。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <p>・まとまった量の英語を聞いてその要点を聞き取る問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・まとまった量の英語を聞かせ、必要な情報を聞き取ることができるかどうかを見る知識の問題。</p>	

Book 3 Focus on Form ② 英語の文構造 p. 43 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	43	<p>●最近うれしかったことについて、分かりやすくまとまりのある文章を書く。</p> <p>①同じ意味を表す日本語、英語を並べ、語順の違いについて、改めて確認をする。</p> <p>②教科書にある文の要素ごと (S,V,O,C) に分けた英語に関する教師の説明を聞いた後で、文構造について確認をしながら音読してみる。</p> <p>③Your Turn の例をペアで読み、上の表にある表現が会話中でどのように機能しているか確認する。</p> <p>④Your Turn の例を参考に、自分のうれしかったことについて書く。</p>	<p>・文構造に関する知識は、外国語学習に際しては欠かせない点であることを改めて理解させたい。</p> <p>・たくさんの文を示しながら慣れさせたい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・英文を読み、文の要素の分類ができるかどうかを確かめる問題。</p>	

Book 3 Project ① Interview with Our ALT pp. 44-45 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	44-45	<p>●Maki のグループの様子から、先生へのインタビューの仕方や先生に尋ねる内容、インタビューの内容を記事にまとめる方法を学ぶ。</p> <p>①Step 1 ① Maki のグループのインタビューの前半を聞き、メモの空欄を埋める。</p> <p>②Step 1 ② Maki のグループがまとめたインタビュー記事を読み、書かれている情報を読み取る。</p> <p>③記事の文章を「基本事項」、「過去のこと」、「現在のこと」、「将来のこと」で色分けし、インタビュー記事のまとめ方を知る。</p>	<p>・最初は、教科書を閉本した状態でインタビューの音声を聞かせて、メモを自由に取らせてみる。</p>
2	44-45	<p>●各自で考えた質問事項を整理して、グループごとにインタビューの準備をする。</p> <p>①Step 2 ① 「基本事項」、「過去のこと」、「現在のこと」、「将来のこと」について質問事項を考えてメモをする。</p> <p>②Step 2 ② 持ち寄ったそれぞれの案をグループ内で整理して、4つのテーマごとに質問を用意する。</p> <p>③質問に対する答えによっては、さらに会話が発展するように関連する質問も考えておく。</p>	<p>・4つの観点から様々な内容の質問を出せるように工夫する。</p>
3	44-45	<p>●ALT の先生にインタビューを行い、聞き取った内容を基に ALT の先生に関する記事を作成する。</p> <p>①Step 3 ①: 質問者は ALT の先生にインタビューをし、質問者以外の人は会話の内容を記録する。</p> <p>②Step 3 ②: グループでインタビューの内容を振り返りながら、記録をテーマごとに整理する。</p> <p>③Step 3 ③: Step 1 の記事を参考にして、Step 3 の②の活動でテーマごとに整理した内容を、グループ内で分担しながら記事にまとめる。</p>	<p>・グループメンバー全員が最低一つは質問できるように工夫する。</p> <p>・模造紙等で教室掲示をしていく。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・グループごとに出来上がった記事を学級内で掲示し、教師や ALT がフィードバックなどで評価を行う。</p>	

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	46-50	<p>●BR やピクチャーチャートなどの説明を基に、登場人物や物語の場面 (地図を含む) を理解する。</p> <p>① (有名な児童文学であるため、話のあらすじを知る生徒も多いと考えられるが,) Wizard のイメージを話し合う。Witch と Wizard の違いを知る。</p> <p>②新出語句の読み方や意味を確認する (p.46 kiss まで)。</p> <p>③3 段落末までを読み、どうして Wizard of Oz を目指すことになったのかを理解する。前半 Dorothy と Toto の不思議な旅の始まりについて知る。</p>	<p>・有名な海外の児童文学を何冊か持参して small talk を展開してみてもよい。</p>
2	46-50	<p>●Dorothy の旅の様子の概要を、過程を追って捉える。</p> <p>①前時に学習した部分を、内容を振り返りながら音読する。</p> <p>②新出語句の読み方や意味を確認する (p.49 grateful まで)。</p> <p>③Dorothy と Toto が旅を共にする仲間が登場した箇所、Wizard of Oz にどんなお願いがあるのかわかる箇所に下線を引く。</p> <p>④the Wicked Witch of the West との戦いの場面の Dorothy の様子、戦いのあとの Oz とのやり取りの場面から仲間たちの変化について読み取れたことをペアで話し合う。</p>	<p>・ピクチャーチャートを活用する。</p> <p>・登場人物それぞれの弱みの部分について考えさせる。</p>
3	46-50	<p>●Dorothy の旅の結末を理解するとともに、物語全体を改めて振り返る。</p> <p>①前時に学習した部分を、内容を振り返りながら音読する。</p> <p>②新出語句の読み方や意味を確認する。(p. 49 south から p. 50)</p> <p>③the Good Witch of the South はどんなことを Dorothy に言ったかわかる箇所に下線を引く。</p> <p>④Step 1: 4 人の魔女と Dorothy の経験した出来事を順に整理する。</p>	<p>・物語のエンディングについての意見を伝え合う。</p>
4	46-50	<p>●物語を読んだ感想をペアやグループで話し合い、作者が伝えなかったことやそれぞれの登場人物のことについて考えたことを伝え合う。</p> <p>①ペアやグループでワンセンテンスリーディング (音読) を行い、これまで学習してきた物語の全体の内容を確認する。</p> <p>②Step 2: 物語の内容に関する質問に答える。</p> <p>③物語の中で自分の一番気に入った箇所に線を引かせ、その理由をペアやグループで発表する。</p> <p>④Step 3: 作者が伝えなかったこと、それぞれの登場人物について考えたことをペアやグループで伝え合う。</p>	<p>・自分が登場人物になるとしたら、かかし、ブリキ、ライオンのどれがよいか、理由を含めて伝え合う。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・物語の内容を示す 1 枚の絵 (教科書にないもの) を示し、その内容を説明する英文を考え、書く問題。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 51 Part 1 52-53	<p>●Hall 先生の話聞き, Unit のタイトルについて考える。</p> <p>①とびらの絵を見ながら Hall 先生の英語を聞き, 質問に答える。</p> <p>②この課で何ができるようになるのか, 目標を確認する。</p> <p>●現在分詞の後置修飾の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 10 の現在分詞の後置修飾を用いた文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③文化祭について話し合う 3 人の会話文の概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・「ユニバーサルデザイン」という言葉の意味を確認させる。</p> <p>・トピックに関する理解を深めるために, Notes の Pictogram の説明を参照させる。</p>
2	Part 1 52-53	<p>●現在分詞の後置修飾が含まれる文を用いて伝え合ったり, 話したりする。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。</p> <p>②Listen の活動をし, 説明に合ったピクトグラムを答える。</p> <p>③Speak, Write の活動で, 絵の人物が何をしているかを伝え合い, 正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動をし, 近くの席のクラスメートを紹介する。</p>	<p>・現在分詞の形を確認する。</p> <p>・Tool Box で位置を表す表現を参照させる。</p>
3	Part 2 54-55	<p>●過去分詞の後置修飾の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 11 の過去分詞の後置修飾を用いた文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③サイボーグ技術に関するポスターセッションの概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・ポスターセッションについて説明する。</p> <p>・Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。</p>
4	Part 2 54-55	<p>●過去分詞の後置修飾が含まれる文を用いて伝え合う。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。</p> <p>②Listen の活動をし, 紹介するものに合ったロボットを答える。</p> <p>③Speak, Write の活動で, 著名作家の本を読んだことがあるか尋ね, 正確に書く。</p> <p>④Express Yourself の活動をし, 過去分詞を用いて好きな歌や音楽について話をする。</p>	<p>・有名な文学作品や作者を答えさせる。</p> <p>・Tool Box の表現を参照させる。</p>
5	Part 3 56-57	<p>●接触節の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 12 の接触節を用いた文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③遊び場のインクルーシブ化に係るプレゼンテーションの概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・Enjoy Chatting の問いを small talk で行い, いくつかの遊具名を英語で教える。</p>
6	Part 3 56-57	<p>●接触節が含まれる文を用いて伝え合う。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後, 本文を音読する。</p> <p>②Listen の活動をし, Kiri と Sho が週末に出かけた場所を答える。</p> <p>③Speak, Write の活動で, 今までで最良のものについて伝え合い, 正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で, 以前訪れた場所で最も素晴らしかったところについて尋ね合う。</p>	<p>・Notes の Inclusive Playground の説明を参照させる。</p>
7	R&T 58-60	<p>●点字ブロックに関するインターネット記事を読んで, 概要を捉える。</p> <p>①4 つの段落それぞれで述べられている情報を抽出するために, 本文を黙読する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③再び黙読をして, 各段落の内容について伝え合う。</p> <p>④内容を整理しながら音読する。</p>	<p>・目の不自由な人たちのための社会生活上の工夫を挙げさせる。</p>
8	R&T 58-60	<p>●点字ブロックに関するインターネット記事を読んで, 要約文を完成する。</p> <p>①Step 1: 記事の要点を捉える。</p> <p>②Step 2: 読んだ記事の詳細情報を捉える。</p> <p>③Step 3: 読んだ記事の要約文を完成する。</p>	<p>・「誘導ブロック」「警告ブロック」について英語で説明させる。</p>
9	T&W 61	<p>●ユニバーサルデザインの例を一つ選び, 聞き手に分かりやすい表現で発表する。</p> <p>①Step 1: で Jin の発表を聞き, その要点を書き留めたメモの空欄に適切な語を書く。</p> <p>②Step 2: で説明したいデザインの一つを選び, 3 つの視点から発表構成メモを作成する。</p> <p>③Step 3: で Words や Tool Box を活用しながら, 説明文を書く。</p> <p>④③で完成した説明文について, 写真を見せながら発表する。</p> <p>⑤この課の Input や Output の目標に関して自己評価する。</p>	<p>・Check の評価項目を踏まえた Show & Tell ができるように工夫させる。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・標識やピクトグラムの意味や特徴などを話して説明する問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・現在分詞や過去分詞, 接触節などの特徴やきまりについての知識を問う問題。</p>	<p>・身近なものについて, 特徴や使いやすさを説明する文章を書く問題にしてもよい。</p>

Book 3 Let's Write ① 中学校生活で打ち込んできたことを書こう p. 62 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	62	<p>●Akari の書いた文章を参考にして、自分が「中学校生活で打ち込んできたこと」を書いて紹介する。</p> <p>①Step 1: Akari が書いた文章を読んで、どんなことに打ち込んできたかを確認する。</p> <p>②Step 2 ①: 表で色分けされている箇所と Akari の文章との対応を参考にしながら、自分ならどんなことについて書くか、メモをする。</p> <p>③Step 2 ②: 書いたメモについてペアやグループで説明し合い、そこで出てきた意見を踏まえて修正案を作成する。</p> <p>④Step 3: Step 2 ②の修正メモを基に、「中学校生活で打ち込んできたこと」について文章を書く。</p>	<p>①3つの内容から構成されている点に気付かせる。</p> <p>・「部活動」に偏りが見られるかもしれないが、生徒の表現したい気持ちを尊重する。</p> <p>・Tool Box を参考にさせる。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・10 文程度の長さで、テーマに沿ったまとまりのある文章を自由に記述させる問題。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 63 Part 1 64-65	<p>●Kiri がネット上で見つけたリストから推測して Unit のトピックについて考える。</p> <p>①リストを見ながら Mr. Kubo と Kiri の会話を聞き、問いに答える。</p> <p>②この課で何ができるようになるのか、目標を確認する。</p> <p>●主格の関係代名詞 who の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 13 の関係代名詞 who を用いた文の構造、意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③気候変動に関する Hall 先生の授業での 3 人の会話文の概要を捉えるように音読する。</p>	<p>・「気候変動」, 「地球温暖化」に関する知識を確認する。</p> <p>・ Notes の説明や Hall 先生が示す長期にわたる年間気温の推移を示すグラフを提示する。</p>
2	Part 1 64-65	<p>●主格の関係代名詞 who を用いて伝え合ったり書いたりする。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②Listen の Guess who クイズを聞いて、説明に合っている人物を選ぶ。</p> <p>③Speak, Write で条件に当てはまる人物について尋ね合い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で、自分の好きな人物や尊敬する人物を紹介する文章を書く。</p>	<p>②それぞれの人物に関する知識を確認する。</p> <p>・ p. 121-122 の Word Box 3 を参照させる。</p>
3	Part 2 66-67	<p>●主格の関係代名詞 that/which の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 14 の関係代名詞 that/which を用いた文の構造、意味や働きを理解する。</p> <p>②Planting Tree とは何かペアで話し合ったあと、植林活動について教師の話の話を聞く。</p> <p>③新出語句を確認する。</p> <p>④ボランティア担当者からの説明から情報を捉えるように音読する。</p>	<p>・ Enjoy Chatting の問いを small talk で行う。</p> <p>・ CO₂ Emission について補足説明する。</p>
4	Part 2 66-67	<p>●主格の関係代名詞 that/which を用いて伝え合ったり発表したりする。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②Listen で Ms. Hall のマンホールに関する話を聞いて、表を埋める。</p> <p>③Speak, Write で自分がある気分にするものについて尋ね合い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で、自分のおすすめの本やマンガについて紹介をする。</p>	<p>・ 2 年学習事項 The news made me happy. (Unit 6-Part 2)を確認する。</p>
5	Part 3 68-69	<p>●目的格の関係代名詞 that/which の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 15 の関係代名詞 that/which を用いた文の構造、意味や働きを理解する。</p> <p>②とびらにある表を再び見て greenhouse gas についての説明を聞く。</p> <p>③新出語句を確認する。</p> <p>④greenhouse gas emissions に関する情報を捉えるように音読する。</p>	<p>・ Part 2 で学習した that/which との違いを理解させる。</p> <p>・ Notes も参照させる。</p>
6	Part 3 68-69	<p>●目的格の関係代名詞 that/which を用いて伝え合ったり説明したりする。</p> <p>①Listen で Ms. Hall のマンホールに関する話を聞いて、表を埋める。</p> <p>②Listen の会話を聞いて、写真のものに関する情報内容として合っているものを選ぶ。</p> <p>③Speak, Write で身の回りにあるものを 1 文で説明し合い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で、自分の身の回りの物について 3~5 文で説明する。</p>	<p>・ この課は化学用語が多いため、苦心する生徒も多いことが予想される。繰り返し丁寧に指導していく。</p>
7	L&T 70-71	<p>●スライドを見ながら Hina のプレゼンテーションを聞き、概要を捉える。</p> <p>①Hina のプレゼンを聞き、概要を捉える。</p> <p>②6 枚のスライドについて、どんな英語が聞き取れたかグループで話し合う。</p> <p>③新出語句を確認する。</p> <p>④Hina のプレゼンをスライド 1 枚ずつ聞かせ、聞き取れた英語をメモする。</p>	<p>・ 絵と絵のキャプションを一読させたあとで英語を聞かせる等、聞くことへのハードルを下げる工夫をする。</p>
8	L&T 70-71	<p>●プレゼンテーションを聞いて理解したことを、スライドを見ながらリテリングする。</p> <p>①Step 1: 4 つの英文を読んでプレゼンの内容に合っているか T/F で答える。</p> <p>②Step 2: 再度プレゼンを聞き、その要約文の空欄に適切な語句を書く。</p> <p>③Step 3: 再度プレゼンを聞き、スライドごとに要点をメモし、スライドを見ながらリテリングする。</p>	<p>・ ②③では p. 108 のスクリプトを参考にする。</p>
9	T&S 72	<p>●My Eco-friendly Action を発表する。</p> <p>①Step 1: Ken と Akari の発表を聞いて、それぞれの考えの要点を英語でメモをする。</p> <p>②Step 2: List から 1 つ選び、自分の考える行動について表にメモをする。</p> <p>③Step 3: Step 2 で作成したメモを活用しながら、わかりやすい表現で発表する。</p> <p>④この課の Input や Output の目標に関して自己評価する。</p>	<p>・ Tool Box の表現などを参考に My Eco-friendly Action を発表する。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・ 社会的な話題に対する対応策などについて、自分の考えを書いて意見を述べる問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・ 関係代名詞 (主格・目的格) を含む文の特徴やきまりについての知識を問う問題。</p>	

Book 3 Focus on Form ③ 後置修飾／〈疑問詞＋主語＋動詞〉を含む文 pp. 74-75 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	74-75	<p>●インターネットでよく見る動画について書く。</p> <p>●ペアで時間があるときによく行く場所について尋ね合う。</p> <p>①分詞, 接触節, 関係代名詞節の後置修飾や間接疑問文の復習として, pp. 74-75にある例文を用い, 音読したり書かれている英文の意味や内容が理解できているかどうか確認したりする。</p> <p>②Your Turn の例にならって, インターネットでよく見る動画について書く。</p> <p>③Your Turn の例を参考にして, 時間があるときによく行く場所についてペアで尋ね合う。</p>	<p>・関係代名詞はなかなか理解できない生徒が多いので, 丁寧に振り返りをしたい。</p> <p>・インターネットをあまり見ない生徒は, 映画やテレビ番組に替えてもよい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・分詞, 接触節, 関係代名詞の後置修飾や S+V+O(疑問詞節), S+V+O+O(疑問詞節)の文構造の特徴やきまりの理解を確かめる知識を測る問題。</p>	

時	Part ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	とびら 77 Part 1 78-79	<p>●Sho のスピーチを聞いて、Unit のタイトルについて考える。</p> <p>①とびらの絵を見ながら Sho の英語を聞き、質問に答える。</p> <p>②この課で何ができるようになるのか、目標を確認する。</p> <p>●S+V+O+C(原形不定詞)の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 16 の S+V+O+C(原形不定詞)を含む文の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③記事の中の日本人女性についての概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・地図を見てアフリカに関する基礎的な知識を確認する。</p> <p>・NPO についての説明をする。</p>
2	Part 1 78-79	<p>●S+V+O+C(原形不定詞)の文を用いて尋ね合ったりする。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②Listen の話を聞いて、Sho の読んだ本や物語の内容を答える。</p> <p>③Speak, Write で、学習した Unit についての感想を伝え合い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で誰かが自分の力になってくれた経験を伝え合う。</p>	<p>・Tool Box の表現も参考にさせる。</p>
3	Part 2 80-81	<p>●仮定法過去(if)の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 17 の仮定法過去(if)の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③Part のタイトルでもある developing countries について概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・developed countries という英語の存在とその意味を考えさせる。</p>
4	Part 2 80-81	<p>●仮定法過去(if)の文を用いて、現実には不可能なことを伝える。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②Listen の話を聞いて、図書館に関する情報やあるといいと思うものを答える。</p> <p>③Speak, Write で、現実には不可能なことを伝え合って、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で、人の誘いを断る際に、用事があることを伝え、もしそれがなかったら一緒に行けるのに、と相手を気遣う断り方をする。</p>	<p>・「過去の事実と異なること」は高校で学習する。</p>
5	Part 3 82-83	<p>●仮定法過去(wish)の特徴やきまりを理解する。</p> <p>①Target 18 の仮定法過去(wish)の意味や働きを理解する。</p> <p>②新出語句を確認する。</p> <p>③栗山さんの取り組む活動の概要を捉えながら音読する。</p>	<p>・途上国の貧困についての資料(写真や映像、データなど)があれば提示する。</p>
6	Part 3 82-83	<p>●仮定法過去(wish)の文を用いて、かないそうにない願望を伝え合う。</p> <p>①本文の上の Listen や下の Read の問いに答えた後、本文を音読する。</p> <p>②Listen の会話を聞いて、すでに準備したものやしなければならぬことを答える。</p> <p>③Speak, Write で、絵の人物や自分のかないそうにない願望を言い、正確に書く。</p> <p>④Express Yourself で、かないそうもない願望を伝え合う。</p>	<p>④Tool Box の表現も参考にさせる。</p>
7	R&T 84-86	<p>●大谷翔平選手のこれまでの野球人生について書かれた英語を読んで、時系列に整理して概要を捉える。</p> <p>①Scene とその下の Listen と Read の文から概要を推測し、本文を読んで確認する。</p> <p>②新出語句を確認し、8つの段落にタイトルをつけ、時系列に整理する。</p> <p>③概要を捉えるために、本文の内容を表にまとめる。</p>	<p>・教科書ではわかりにくい、「目標達成シート」の写しなどを生徒にも見せたい。</p>
8	R&T 84-86	<p>●大谷選手の今までの野球人生を紹介する。</p> <p>①Step 1: 前時の②で整理した内容を参考にして4つの出来事を時系列に並べる。</p> <p>②Step 2: ①～⑤の問いに、前時の③の表を参照して英語で答える。</p> <p>③Step 3: 前時の②③と Step 1 と 2, Key Phrases を参考に大谷選手のことを紹介する。</p>	<p>・Key Phrases やその他の調べた情報を加えながら紹介してもよい。</p>
9	T&W 87	<p>●世界で活躍する人物の生き方や成し遂げたことについて、自分の感想や考えを加えて紹介文を書く。</p> <p>①Step 1: Hina の紹介文を読み、どんな人をどのように紹介しているかを話し合う。</p> <p>②Step 2: 紹介したい人物の紹介ポイントを表にまとめる。</p> <p>③Step 3: Words や Tool Box を参照しながら、紹介文を書く。</p> <p>④この課の Input や Output の目標に関して自己評価する。</p>	<p>・生徒それぞれの視点で、「世界で活躍する人物」を考えさせ、様々なタイプの人物を発表させたい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・T&W で完成した紹介文を ALT の先生の前で発表する問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・S+V+O+C(原形不定詞)や仮定法過去の文の特徴やきまりについての知識を問う問題。</p>	<p>・ALT の先生に誘われた際、どう断るかを考えさせ対応させる問題にしてもよい。</p>

Book 3 Let's Talk ② 乗り物を使った道案内 p. 88 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	88	<p>●目的地までの、乗り物を使った行き方をたずねたり、説明したりするスキットを作る。</p> <p>①本文を見ないでモデル会話を聞き、聞き取った要点と場面の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考に目的地を①～③に設定して会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、路線図を使って今いる場所や目的地を自由に設定して、スキットを作って演じる。</p>	<p>・最寄りの駅から目的地の駅までの案内を一つ、目的地の駅から目的地までの徒歩やバスを用いた案内を作成させてもよい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・架空の路線図を用意して、目的地までの道案内を発表させる問題。</p>	

Book 3 Let's Listen ② Pay It Forward p. 89 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	89	<p>●ラジオ番組で紹介された出来事を聞き取り、その内容を友達に伝える。</p> <p>①タイトル Pay It Forward とイラストから出来事の内容を想像し、ペアやグループで話し合う。</p> <p>②次のようなリスニングポイントを3つ設定し、ラジオ番組の前半を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストに描かれた6人は誰なのか。 ・一人の男性客が申し出たことはどんなことか。 ・店のオーナーが受け取ったものは何か。 <p>③Words の2行目最後の kindness までの新出語句を確認する。</p> <p>④もう一度、ラジオ番組の前半を聞く。</p> <p>⑤Step 1: ②の3つのリスニングポイントについて確認しながら、①～③の文の() に T/F を書く。</p> <p>⑥次のようなリスニングポイントを3つ設定し、ラジオ番組の続きを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翌日の朝どんな出来事が起きたか。 ・それから後にどんな連鎖反応が起きたか。 ・レストランの支配人はどんな思いを持ったか。 <p>⑦Words の3行目の customer(s)以降の新出語句を確認する。</p> <p>⑧もう一度、ラジオ番組の続きを聞く。</p> <p>⑨Step 2: ⑥の3つのリスニングポイントについて確認しながら、①～③の質問に答える。高校生が最後に言った”Something small made a big difference. And that makes us feel great.”の意味についてペアやグループで話し合う。</p> <p>⑩p. 109 のスクリプトを見ながら全体を聞いて内容を確認する。</p> <p>⑪Step 3: おおまかな内容をリテリングする英語を考えて、発表する。</p>	<p>・想像力を働かせてどんな場面か様々な意見を出させ、聞くことのモチベーションを高めさせる。</p> <p>・タイトルである Pay It Forward の意味についても考えさせたい。</p> <p>・④生徒の実態に応じて音声流速回数を調整する。</p> <p>・⑧生徒の実態に応じて音声流速回数を調整する。</p> <p>・Step 2 の問いは日本語で書いてあるが、授業で問いを扱う際は英語で行いたい。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまった量の英語を聞いてその要点を聞き取る問題。 <p>ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまった量の英語を聞いてそのおおまかな内容を要約して英語で書く問題。 	

Book 3 Project ② This Is All about Me -Autobiography- pp. 90-91 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	90-91	<p>●Naomi の書いた文章を読み, 自分自身のこれまでの歩みと未来を紹介するリーフレットについて理解する。</p> <p>①教師自身の Autobiography のプレゼンテーションを聞く。質問等に応答しながらインタラクションを行う。</p> <p>②Step 1 ①: Naomi が書いた文章を黙読し, 「過去・現在・未来」に関わる記述の内容を確認する。</p> <p>③新出語句を確認する。</p> <p>④Step 1 ②: Step 1 ①の活動で確認した内容を整理して, メモを完成させる。</p>	<p>・家庭の事や将来の夢を語りたがらない生徒もいるので, 配慮が必要である。</p> <p>・各時制の表現の決まりは理解できているか注意させる。</p>
2	90-91	<p>●前時の教師のプレゼンテーションや Step 1 の②で内容を整理した表を参考にして自分自身のリーフレットの作成に向けて構想を練る。</p> <p>①Step 2 ①: Past, Present, Future のそれぞれの質問への答えを考えて, その下の表にメモをする。</p> <p>②Step 2 ②: グループやペアでメモについて良い点や改善点を話し合い, メモを修正する。</p> <p>③Autobiography の作成・発表に際して, 必要な写真や記録物などをメモし, 次の時間までに用意する。</p>	<p>・現在の状況は, 全員が似た部分が多いかもしれないので, 過去や未来の部分で自分らしさを伝えるよう指導する。</p>
3	90-91	<p>●自分自身のこれまでの歩みと未来を綴った Autobiography を完成させ, ペアやグループで発表し合う。</p> <p>①Step 1 の Naomi の文章を音読する。</p> <p>②Step 3: past-present-future の英語の表現の違いについて基本事項を再確認し, 自分の Autobiography を書く。</p> <p>③ペアやグループで発表し合う。</p>	<p>・タブレット端末などを活用して作成したものを発表してもよい。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・紙芝居方式, タブレットやパソコンのプレゼンテーションソフト方式いずれかで作成した Autobiography を ALT の先生の前で発表する問題。</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・各時制の特徴や決まりを問う知識の問題。</p>	

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	92-96	<p>● どうして私たちは英語を学んでいるのかを考える。</p> <p>① 世界に言語はいくつぐらいあるのかを考える。</p> <p>② 言語の役割は何なのかを考える。</p> <p>③ 新出語句の発音と意味を確認する(p.92)。</p> <p>④ 第1, 2段落の内容を考えながら黙読する。</p> <p>⑤ ②の問いの答えが書かれている箇所に線を引く。</p> <p>⑥ 線を引いた箇所についてペアで話し合う。</p>	<p>・クイズ的な流れで導入し、提示できる資料を用意できるとよい。</p>
2	92-96	<p>● 新しい言語や英語を学ぶ意味を考える。</p> <p>① 新しい言語を学ぶ意味は何なのかを考える。</p> <p>② 英語を学ぶことはなぜ大切なのかを考える。</p> <p>③ 新出語句の発音と意味を確認する(pp.93-94)。</p> <p>④ 書かれている内容考えながら第6段落まで黙読する。</p> <p>⑤ ①②の問いの答えが書かれている文に線を引く。</p> <p>⑥ 線を引いた箇所についてペアで話し合う。</p>	<p>・母語と英語を話すALTがいれば、2つの言語を話してもらったり、問いに対するALTの意見を聞いたりすることができる。</p>
3	92-96	<p>● 英語を学ぶ意味をさらに考える。</p> <p>① 日本語と英語で併記されている掲示物を思いっくだけ発表する。</p> <p>② 日本語と英語、他言語でアナウンスされる場面を思い出し発表する。</p> <p>③ 新出語句の発音と意味を確認する(p.95)。</p> <p>④ 書かれている内容考えながら第7段落まで黙読する。</p> <p>⑤ 前時②の追加の答えとなる部分があれば線を引く。</p> <p>⑥ 線を引いた箇所をペアで話し合う。</p>	<p>・どんな箇所に線を引いているか机間を回る。</p>
4	92-96	<p>● A tool for International Communication となっている英語の存在や英語学習の意義、英語学習成功のカギを読み取る。</p> <p>① ペアになって段落ごとに音読をする。発音があいまいな語は教え合う。</p> <p>② Step 1: 全体をもう一度黙読しながら、段落内容を説明する英語に番号をつける。</p> <p>③ Step 2: ①～⑥の英語の質問に英語で答える。</p> <p>④ ペアで Step 1 と 2 の解答を確認し合う。</p> <p>⑤ Step 3: Step 1 と 2 の活動を参考にして本文の内容を説明する。</p>	<p>・量が多いので、じっくり振り返らせる。</p> <p>④ 机間巡視し、繰り返される誤りがあれば全体に説明する。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・まとまった量の英語を読み、その要点を理解できているかどうか確認する問題。</p>	

Book 3 Focus on Form ④ 「～に…させる」などの表現／仮定法過去 p. 97 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	97	<p>●もしも自分がスーパーヒーローだったら何をするかを発表する。</p> <p>①「～に…させる」などの表現や仮定法過去の文の復習として、教師の用意したワークシートを用い、音読したり書かれている英文の意味や内容が理解できているかどうか確認したりする。</p> <p>②仮定法過去の文は、さらに多くの例文を読んだり発したりして練習する。</p> <p>③Your Turn に取り組み、2文目以降を自由に創作し(初めの1文は共通とする)、ペアで発表し合う。</p>	<p>・現在の事実とは異なることを仮定する仮定法過去と比較して、過去の事実とは異なることを仮定する仮定法過去完了に少し触れるのもよい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・S+V+O+C(原形不定詞), 仮定法過去の文構造の特徴やきまりの理解を確かめる知識を測る問題。</p>	

Book 3 Let's Talk ③ 誘いを断る p. 98 指導計画

(KE: Key Expressions)

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	98	<p>●誘われた時に、相手の気持ちに配慮しながら断る。</p> <p>①登場人物の Sam と Erika の「どちらが誘ったのか」, 「誘われた方はどう対応したか」という2つのリスニングポイントを提示して、本文を見ないでモデル会話を聞き、会話の概要を確認する。</p> <p>②本文を読んで、聞き取った内容を確認する。</p> <p>③新出語句と KE の重要表現の意味や働きを確認した後、モデル会話を聞きながら本文を読む。</p> <p>④Step 1: 発音やイントネーションなどに気をつけながらモデル会話を練習し、ペアになって会話をする。</p> <p>⑤Step 2: ペアになり、モデル会話を参考にして①と②の設定に替えて会話をする。</p> <p>⑥Step 3: ペアになり、誘う内容や表現を考え、断る表現については Tool Box の表現を参考に相手に配慮して断る表現を考える。スキットを作って演じる。</p>	<p>・誘われた際に、いつでも都合がつくわけではないということを理解させた上で表現の定着を図る。</p>
後日		<p>パフォーマンステスト</p> <p>・目的、場面・状況を設定した上で、誘われた時にどう反応・応答するかを、ALT とのパフォーマンステストで観察する問題。</p>	

Book 3 Let's Listen ③ Fighting Global Warming p. 99 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	99	<p>● スピーチを聞いて、話の要点を捉える。</p> <p>①Fighting Global Warming というタイトルと Before Reading の地図や絵などから、これから聞こうとするスピーチの内容を推測し、ペアで話し合う。</p> <p>②Step 1: David さんのスピーチの前半を聞いて、聞き取れた語や内容をできるだけ多くメモする。</p> <p>③Words 3 行目の actual までの新出語句を確認する。</p> <p>④もう一度、David さんのスピーチの前半を聞いて、チャドが抱える問題についてメモをし、グループで聞き取れたことを確認し合う。</p> <p>⑤Step 2: David さんのスピーチの後半を聞いて、①～③の文の()に T/F を書く。</p> <p>⑥Words 3 行目の educate(s)以降の新出語句を確認する。</p> <p>⑦もう一度、David さんのスピーチの後半を聞いて①～③の英文の T/F を確認する。</p> <p>⑧p. 110 のスクリプトを見ながら David さんのスピーチ全体の音声を聞いて内容を確認する。</p> <p>⑨Step 3: David さんが伝えたかったことは何かをペアかグループになって英語で話し合う。</p>	<p>・(社会科教諭にアフリカを学習しているかどうかを確認したい) アフリカの地図を提示し、色々な国が大陸内にあることを確認する。</p> <p>・②⑤生徒の実態に応じて音声の流す回数や速度を調整する。</p> <p>・スピーチの前半は 92 語、後半は 138 語であり、情報量が異なる点に注意させる。</p> <p>・⑨は、生徒の実態にもよるが、英語で話し合わせたい。</p>
後日		<p>リスニングテスト</p> <p>ペーパーテスト</p> <p>・まとまった量の英語を聞いて、話の要点を捉えられているかどうかを問う問題。</p>	

Book 3 Let's Write ② 投稿文への意見を書こう p. 100 指導計画

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	100	<p>●社会的な話題について、自分の意見を理由や根拠を交えて書く。</p> <p>①[Scene]について確認し、地域奉仕活動にはどのような活動があるのかをグループで伝え合う。</p> <p>②Step 1: SNS に投稿されたモデル文を読む。</p> <p>③新出単語の発音と意味について内容理解と共に確認する。</p> <p>④モデル文の導入部分、展開部分、まとめ部分についてメモを取り、クラス全体で確認する。</p> <p>⑤Step 2 ①: 自分だったらどのように投稿文への意見を書くか、「導入 (賛成か反対)」「展開・自分の意見を支持する理由」「結論」の項目ごとに英語でメモする。</p> <p>⑥Step 2 ②: メモを基にグループで読み合い、互いのメモに対して意見を出し合う。グループのメンバーから出た意見を参考にメモを修正したり、必要な内容を書き加えたりする。</p> <p>⑦Tool Box の「主張」、「理由・根拠」、「反対・対比」などの表現を確認する。</p> <p>⑧Step 3: Step 2 ②で修正を加えたメモを基に、⑦で確認した表現を取り入れて自分の意見を理由や根拠を交えて書く。</p>	<p>・実際の SNS の投稿とその反応の書き込みが用意できれば、教科書の投稿文に取り組み前に生徒に見せてもよい。</p> <p>・友達との SNS 上の何気ないやり取りとは違い、意見を述べる以上は根拠に基づいている必要がある点に注意させる。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・社会的な話題について、理由や根拠を添えた上で自分の意見を書く問題。</p>	

時	ページ	ねらい (●), 言語活動 (丸数字)	留意点
1	101-107	<p>●物語に関する歴史や事実などの背景を知り、読もうとする意識を高める。</p> <p>①アポロやソユーズといった米ソの宇宙開発競争, スペースシャトル, 日本の H3 ロケットなどの話を聞き, 宇宙旅行やロケットについて関心を高める。</p> <p>②NASA のエンジニアとなった主人公 Homer Hickam についての簡単な紹介を聞く。</p> <p>③4 段落目(p. 102 5 行目)までを黙読し, 概要を捉える。</p> <p>④新出語句の発音と意味を確認する。</p>	<p>・多くの絵や写真, 映像などを提示し, 関心を高めたい。</p> <p>・主人公はどのような人物なのかを簡単に伝える。</p>
2	101-107	<p>●主人公 Homer Hickam がロケットづくりを始めた頃の様子を理解する。</p> <p>①どうしてロケットは飛び上がり宇宙まで行けるのかそのしくみを想像する。</p> <p>②新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>③黙読しながら, 次の3つのリーディングポイントの答えにあたる内容が書かれている文に下線を引く。(p. 104 5 行目まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何がきっかけでロケットづくりに関心を持ったのか。 ・BCMA とは何か。 ・BCMA のメンバーたちを応援する2人の人物は誰か。 <p>④③のリーディングポイントの確認をして, 音読をする。</p>	<p>・ロケットの原理については, 理科の教師の話やインターネットで見ることのできる簡易な資料があるとよい。</p>
3	101-107	<p>●Bykovski さんとの関わりとその影響の大きさを理解する。</p> <p>①スポーツ選手, 芸能人等の著名人の話で, その人に大きな影響を与えた恩人のような存在の人物の話を知っていれば, 学級内で発表する(教師による紹介でもよい)。</p> <p>②新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>③黙読しながら, 次の2つのリーディングポイントの答えにあたる内容が書かれている箇所に下線を引く。(p. 105 9 行目まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bykovski さんが亡くなってしまったことがわかる箇所。 ・失意にあった主人公 Homer Hickam がロケットづくりを再開したきっかけがわかる箇所。 <p>④③のリーディングポイントの確認をして, 音読をする。</p>	<p>・偉人の伝記などから参考になる話があれば, 活用してもよい。</p>
4	101-107	<p>●BCMA の活動の復活と成長の様子を理解する。</p> <p>①Bykovski さんの奥さんの言葉にはどんな意味が込められていたのかを話し合う。</p> <p>②p.105 のプレゼンテーションをする主人公 Homer Hickam の写真を提示して, プレゼンテーションとは何をする事なのかを理解する。</p> <p>③新出語句の発音と意味を確認する。</p> <p>④黙読しながら, 次の3つのリーディングポイントの答えにあたる内容が書かれている箇所に下線を引く。(p. 106 最後まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・National Science Center での発表の成績。 ・BCMA の最後のロケットは何回目の打ち上げだったか。 ・主人公 Homer Hickam さんのその後。 <p>⑤④のリーディングポイントの確認をして, 音読をする。</p>	<p>・よいプレゼンテーションをするためには, 「正確な知識や情報に基づいているか」, 「何を伝えたいのか自分の考えが明確になっているか」の2つがまず基盤である。</p>
5	101-107	<p>●前時までに読んできた Rocket Boys の内容を整理する。</p> <p>①グループになって物語全体を音読し, 前時までの内容を思い出す。</p> <p>②Step 1: 絵を物語の流れにあわせて並べかえる。</p> <p>③Step 2: 要約文の空欄に適切な語を入れて, 文章を完成させる。</p> <p>④グループでこの物語の中で好きな場面を発表し合ったり話し合ったりする。</p>	<p>・好きな場面とともに, その理由も伝えさせるようにしたい。</p>
6	101-107	<p>●Step 1 の絵を用いながら, グループ全体でリテリングをする。</p> <p>①6 枚の絵を一人1枚担当として行う。</p> <p>②Step 3: 本文をそのまま読み上げるのではなく, 絵が伝えている出来事やメッセージを考え, 自分の言葉で説明する。</p> <p>③班対抗で発表を行い, 英語教師と ALT に判定を受ける。</p>	<p>・中学の英語学習のまとめとして, 高いレベルの内容を意識させたい。</p>
後日		<p>ペーパーテスト</p> <p>・まとまった量の英文を読み, そのおおまかな内容を捉えることができるかどうかを見る問題。</p>	